

Oxford Reading Tree Level 5 More Stories B

- ① The New Baby [362 語]
- ② Camping Adventure [335 語]
- ③ Scarecrows [318 語]
- ④ Noah's Ark Adventure [370 語]
- ⑤ A New Classroom [328 語]
- ⑥ Mum to the Rescue [352 語]

The New Baby 「生まれたばかりの赤ちゃん」 (362 語)

Before Reading

表紙には生まれたばかりの赤ちゃんと、赤ちゃん用品が写っています。ウェットティッシュはワイプ “Wipes” と言います。

	The New Baby	生まれたばかりの赤ちゃん
1	Jo had some good news. She was expecting a baby. “What good news!” said everyone.	ジョーにはよい知らせがありました。 ジョーには赤ちゃんが生まれるのです。「なんてよいニュース！」とみんなが言いました。
2	Wilma’s mum found the old buggy. “Oh look!” said Wilma’s dad. “Wilf had it when he was a baby.”	ウィルマは古いベビーカーを見つけました。 「ねえみてごらん！」とウィルマのパパが言いました。「ウィルフがあかちゃんのごろに使っていたよ」。
3	The buggy looked a bit scruffy. A wheel had come off. “We can do it up,” said Wilma’s mum.	ベビーカーはちょっと汚れていました。 車輪がとれてしまっていました。 「直せるわ」とウィルマのママが言いました。
4	Wilma told Biff and Chip. “Jo is expecting a baby,” she said. “What good news!” said Chip.	ウィルマがビフとチップに言いました。 「ジョーには赤ちゃんが生まれるのよ」とウィルマは言いました。「なんてよいニュースなんだ！」とチップは言いました。

5	Biff and Chip went home. "Jo is expecting a baby," said Chip. "What good news!" said Mum.	ビフとチップは家に戻りました。 「ジョーに赤ちゃんが生まれるんだって」とチップが言いました。 「なんてよいニュースなの！」とママが言いました。
6	Dad found the old cot. "Oh look!" said Mum. "Kipper had it when he was a baby."	パパは古いベビーベッドを見つけました。 「ねえ、見て！」とママが言いました。 「キッパーがあかちゃんの頃のベッドよ」。
7	The cot looked a bit scruffy. It needed a new mattress. "We can do it up," said Dad.	ベビーベッドは少しくす汚れていました。 新しいマットレスが必要でした。 「なんとかなるよ」とパパが言いました。
8	Biff and Chip told Kipper. "Jo is expecting a baby," they said. "That's brilliant!" said Kipper.	ビフとチップがキッパーに言いました。 「ジョーにはあかちゃんが生まれるんだ」と二人は言いました。 「なんてすてきなんだろう！」とキッパーが言いました。
9	Kipper found an old toy rabbit. It looked a bit scruffy. "Can we do it up?" he asked.	キッパーは古いうさぎのおもちゃを見つけました。ちょっと汚れていました。 「きれいになるかな？」とキッパーは聞きました。
10	Kipper was in Miss Green's class. He told Miss Green about Jo's baby. "How exciting!" said Miss Green.	キッパーはグリーン先生のクラスにいました。キッパーはグリーン先生にジョーのあかちゃんについて言いました。 「わくわくするわね！」とグリーン先生は言いました。

- | | | |
|----|---|--|
| 11 | Kipper looked puzzled.
“When will Jo’s baby come?”
he asked. | キッパーはどうなんだろうという顔をして
いました。「いつジョーのあかちゃんは生
まれるの？」とキッパーは聞きました。 |
| 12 | Miss Green told the children
about babies. | グリーン先生は子どもたちにあかちゃん
についてお話しました。 |
| 13 | Mums and dads came to
school.
They told the children about
babies too. | ママやパパたちが学校にやってきました。
子どもたちにあかちゃんの話をしました。 |
| 14 | Kipper played with the baby.
He gave it a rattle.
The baby made a funny noise. | キッパーがあかちゃんと遊びました。
ガラガラをやってみました。
あかちゃんはそのしやうに声を出しまし
た。 |
| 15 | The children made a book.
The book was about babies. | 子どもたちは本を作りました。
本はあかちゃんについてでした。 |
| 16 | Kipper gave Jo the book.
Biff and Chip gave Jo the cot.
Jo was pleased. | キッパーはジョーに本を渡しました。
ビフとチップはジョーにベビーベッドをあ
げました。ジョーは喜びました。 |
| 17 | Wilf wanted the baby to be a
girl.
Wilma wanted it to be a boy so
Wilf made a big chart. | ウィルフはあかちゃんが女の子だとい
いと思いました。
ウィルマは男の子だとよいとおもったの
で、大きな表を作りました。 |
| 18 | “The baby is coming,” said Jo.
“It’s time to go.”
“How exciting,” said Wilf. | 「あかちゃんが生まれるわ」とジョーが言
いました。「行かなくちゃ」。「なんてときど
きするんだろう」とウィルフがいました。 |

19	<p>Wilma called her mum. “Jo’s baby is coming,” she called. “How exciting!” said Wilma’s mum.</p>	<p>ウィルマがママを呼びに行きました。 「ジョーのあかちゃんが生まれそうよ」と叫びました。 「なんてわくわくするんでしょう！」とウィルマのママは言いました。</p>
20	<p>Jo went to the hospital. She went in the car. “Good luck,” called Wilma’s mum.</p>	<p>ジョーは病院に行きました。 ジョーは車に乗りました。 「がんばって」とウィルマのママが声をかけました。</p>
21	<p>Jo was in hospital. She had a baby girl. “She is called Vicky,” said Jo.</p>	<p>ジョーは病院にいました。 女の子のあかちゃんが生まれました。 「名前はビッキーよ」とジョーが言いました。</p>
22	<p>Jo brought Vicky home. Everyone wanted to see the new baby.</p>	<p>ジョーはビッキーを連れて帰りました。 みんな生まれたてのあかちゃんを見たがっていました。</p>
23	<p>Jo looked at Kipper. “You know about babies,” she said. “Do you want to help?”</p>	<p>ジョーはキッパーを見ました。 「あかちゃんについてわかっているのでしょう」と言いました。 「手伝いたい？」</p>
24	<p>Kipper looked at Vicky. “No, thank you,” said Kipper</p>	<p>キッパーがビッキーを見ました。 「結構です」とキッパーが言いました。</p>

After Reading

12 ページと 13 ページを開いてみてください。グリーン先生のお話に子どもたちは聞き入っています。よく見てみると様々な肌の色や髪の色などがちがう子どもたちが描かれています。欧米では日本とは異なり、いろいろな人種がいることが意識されています。欧米の絵本を見ると、意図的に多岐にわたる人種を描いているのが伝わってくる場合があります。

Vicky

ジョーには女の子が生まれてきます。名前は Vicky と言いますが、それは Victoria を略している場合があります。語源はラテン語で Victory「勝利」や conqueror「勝者」の意味です。

クラスで楽しもう

英語は名詞を次々と代名詞に言い換えていきます。ここでは、代名詞が何を指しているのかを考えて読んでいくと、物語の筋がきちんと追えます。文字を書く練習にもなります。

準備するもの： 名刺大の白いカード 10 枚×人数分
えんぴつ・マジック・ボールペンなど書くもの

- 1) 絵本の代名詞にマークします。遊びやすいようにとりあえず人間を言い換えているものだけを選びます。
- 2) 何を言い換えているのか、もとの言葉を探します。
- 3) 代名詞に言い換えられている名詞を、カードにひとつずつ書き出していきます。
Jo, Wilma's mum, Wilma's dad, Wilma, Biff, Chip, Mum, Dad, Kipper, など。
- 4) 絵本を読みながら、代名詞の所でさしていると思うものを 3) のカードから選びます。
子どもたち全員に一斉にあげてもらうと、たとえまちがえていても目立ちません。

ことばの解説

p.1 expect (ing) expecting は「妊娠している・出産を控えている」の意味がある。

expect は「期待する・予期する」。

p.3 scruffy 薄汚い・みすぼらしい do it up うまくやる

p.6 cot ベビーベッド(英)、アメリカでは crib という。

p.8 brilliant すばらしい・見事な p.9 a bit 少し

p.10 exciting 興奮させる・おもしろい p.11 puzzled 困った・困惑した

Camping Adventure 「キャンプで冒険」 (335 語)

Before Reading

ウィルマー家は、ランプを照らし折りたたみのテーブルで楽しそうに話をしています。キャンプに行ってどんなことが待ち受けているのでしょうか。

	Camping Adventure	キャンプで冒険
1	Mum and Dad went camping. They took the children. They went to a farm.	ママとパパはキャンプに行きました。 子どもたちも連れていきました。 農場に行きました。
2	Mum and Dad had a new tent. They put it up. Wilf helped.	ママとパパは新しいテントを持っていきました。 テントを張りました。 ウィルフも助けました。
3	Wilma got some water. "I like it here", she said. "I like camping."	ウィルマは水をくんできました。 「ここが気に入ったわ」とウィルマが言いました。 「キャンプって好きだわ」。
4	Mr Jones was the farmer. He had to milk the cows. "Come and watch," he said.	ジョーンズさんは農夫でした。 ジョーンズさんは牛のミルクをしぼっていました。 「見にきてごらん」とジョーンズさんは言いました。
5	"What a lot of cows!" said Wilf. Mr Jones laughed. "We milk them every day," he said.	「なんてたくさん牛がいるんだ！」とウィルフが言いました。ジョーンズさんは笑いました。 「おじさんたちは毎日ミルクをしぼるのだよ」とジョーンズさんは言いました。

- | | | |
|----|---|---|
| 6 | Mum wanted some milk.
She went to the farm house.
"I want some eggs too," said Mum. | ママはミルクを飲みたくなりました。
ママは農家に向かっていきました。
「卵もほしいわ」とママは言いました。 |
| 7 | Mrs Jones was expecting a baby. She was expecting it soon. "It may come today," she said. | ジョーンズさんの奥さんは妊娠中でした。
もうすぐあかちゃん生まれるのでした。
「今日かもしれません」とジョーンズさんの奥さんは言いました。 |
| 8 | Dad cooked supper.
"I like it here," said Wilf.
"It's fun in this tent." | パパが夕食を作りました。
「ここが気に入ったよ」とウィルフが言いました。
「このテントは楽しいよ」。 |
| 9 | Everyone went to bed but there was a storm.
Nobody could sleep. | みんながベッドに入りましたが、嵐になってしまいました。
だれも眠れませんでした。 |
| 10 | The wind blew.
Everyone had to get up. | 風が吹きました。
みんなは起きなければならなくなりました。 |
| 11 | The wind blew the tent down.
They had to go to the farmhouse. | 風でテントが吹きとびました。
農家に行かなければならなくなりました。 |
| 12 | Mr Jones called Mum.
"The baby is coming," he said. | ジョーンズさんはママを呼びました。
「あかちゃんが生まれそうだ」とジョーンズさんは言いました。 |
| 13 | Mrs Jones had to go to hospital.
She got in the car.
Mum helped her. | ジョーンズさんの奥さんは病院に行かないとなりませんでした。車に乗り込みました。
ママが奥さんを手伝いました。 |

14	The storm got worse. The wind blew and blew. The wind blew a big tree down.	嵐がひどくなりました。 風がビュンビュン吹きます。 風は大きな木をなぎ倒しました。
15	The car couldn't get past. Mr and Mrs Jones went back to the house.	車が通れなくなっていました。 ジョーンズ夫妻は家に戻りました。
16	Mr Jones called for help. He called the hospital. "A helicopter's coming," he said.	ジョーンズさんは助けを呼びました。 病院に電話をしてみました。 「ヘリコプターが来るよ」とジョーンズさんは 言いました。
17	Mr Jones pointed to a field. "The helicopter can land there," he said.	ジョーンズさんは農場を指差しました。 「ヘリコプターはここに着けるよ」とジョーン ズさんが言いました。
18	Mr Jones got some bags. The children helped. They got some big stones.	ジョーンズさんが袋を運んできました。 子どもたちも手伝いました。 大きな石も集めました。
19	They made a big cross out of the bags. They put stones on the bags.	みんなで大きな十字架を袋で作りました。 石を袋の上に置きました。
20	The helicopter came. It landed near the cross. "At last!" said Mr Jones.	ヘリコプターが来ました。 十字架の付近に着陸しました。 「ついにきたぞ！」とジョーンズさんが言い ました。
21	There was a doctor in the helicopter. "Come on!" said Mr Jones.	ヘリコプターには医師が乗っていました。 「さあ！」とジョーンズさんは言いました。

22	The doctor ran to the house but Mum came to the door. She was laughing.	医師は家に走ってきましたが、ママが戸口に出てきました。 ママは笑っています。
23	“Too late!” said Mum. “Mrs Jones has had the baby. She’s had a baby boy.”	「間に合わなかったわ」とママは言いました。「ジョーンズさんの奥さんはもう赤ちゃんを産んでしまったの。男の赤ちゃんでした」。
24	Everyone looked at the baby. “He’s very sweet,” said Wilma. “Will he like camping?”	みんなは赤ちゃんを見ました。 「とてもかわいいわ！」とウィルマが言いました。「キャンプが好きになるかな？」

After Reading

335 語のお話になるとまとまった長さがあるので、全体の流れをしっかりと把握しながら楽しんでいく読み方の練習になります。動詞は camping, expecting, coming, laughing のように～ing の形になっている場合と、took, went, had, got, laughed, wanted, cooked などのように過去形になっている場合があります。

Expecting

expecting という「予期している・期待している」という意味です。ここでは 7 ページに Mrs Jones was expecting a baby. 「ジョーンズさんには赤ちゃんが生まれるのでした」とあるように、あかちゃんが生まれることを expect しています。expecting は、a baby と言わなくても「妊娠している」の意味があります。男の赤ちゃんは p.23 にあるように a baby boy, 女の子だったら a baby girl といいます。胎児のときには性別がわからないので何というのでしょうか。答えは、p.7 She was expecting it soon.とあります。

クラスで楽しもう

教室でこの本を使うときに、動詞の部分を目的語まで一緒に動作で覚えてしまうと簡単に覚えられ、語順も身につけられます。他動詞がどういうものかとかいう文法の概念は教えなくても、自然に何をどうするということがわかるのがこの方法です。

1) ジェスチャーができそうな部分の文章に線を引きます。

p.1 went camping/ went to a farm

p.2 had a new tent

p.3 got some water

p.4 milk the cow

p.6 wanted some milk/ want some eggs

p.7 was expecting a baby

p.8 cooked supper

p.9 went to sleep

p.11 blew the tent down, had to go to the farmhouse

p.13 go to hospital, got in the car

p.14 blew a big tree down

p.16 called for help

p.17 pointed to a field

p.18 got some bags/ got some big stones

p.19 made a big cross, put stones

p.22 ran to the house

p.23 had a baby boy

2) ジェスチャーを練習します。1) のフレーズを言いながらみんなでやってみます。

3) ジェスチャーを覚えたら、今度は指導者がフレーズを言い、子どもたちにジェスチャーをしてもらいます。

4) フレーズを言えるようならば、次に先生がジェスチャーをして子どもたちにフレーズを言ってもらいましょう。

Scarecrows 「かかし」 (318 語)

Before Reading

かかしが三角の鼻をつけて立っているのをビフとチップが話しています。男のかかしなのでしょうか。髪は長めです。

	Scarecrows	かかし
1	Biff and Chip had a little garden. They planted seed and they put in plants.	ビフとチップには小さな庭がありました。ビフとチップはタネをまき、植物を植えました。
2	The birds liked the garden. They ate the seeds and pecked the plants.	鳥は庭を気に入りました。鳥はタネを食べて、植物をつつきました。
3	Biff was cross. "Look at the birds," she said. "Go away! Go away!"	ビフは怒りました。「鳥を見てよ」とビフは言いました。「あっちにいった！あっちにいった！」
4	Biff and Chip had an idea. "Let's make a scarecrow," they said. 'What a good idea,' said Mum.	ビフとチップには考えがありました。「かかしを作ろう」と二人は言いました。「なんてよい考えなの」とママが言いました。
5	They got some old clothes and made the scarecrow's body. Mum helped them.	ビフとチップは古着を集めてかかしの胴体を作りました。ママは手伝いました。

6	Biff got a bag. Chip painted a face on it. Mum made the scarecrow's hair.	ビフは大きな袋を持ってきました。 チップはその袋に顔を描きました。 ママはかかしの髪の毛を作りました。
7	Chip wanted the scarecrow to be a boy. He called it Fred.	チップはかかしを男の子にしたいと思いました。チップはかかしをフレッドと名づけました。
8	Biff wanted it to be a girl. "All scarecrows are boys," said Chip.	ビフは女の子にしたいと思いました。 「かかしはみんな男の子でしょう」とチップが言いました。
9	The key began to glow. The magic took them inside the little house.	マジック・キーが光りだしました。 魔法でふたりは小さなうちに入り込みました。
10	The magic took them to a field. The scarecrow came to life. "I'm alive!" called Fred.	魔法でふたりは畑に着きました。 かかしには命が宿りました。 「生きている！」とフレッドが叫びました。
11	Fred jumped in the air. "It's magic!" he called.	フレッドは大空に飛び上がりました。 「魔法だ！」と叫びました。
12	There were some scarecrows in the lane. Fred waved at them.	かかしが小道に何人かいました。 フレッドはかれらに向かって手を振りました。
13	Fred ran up to the scarecrows. "Hello!" he called. 'Where are you going?'	フレッドはかかしの所に駆け寄っていきました。「こんにちは！」とフレッドは叫びました。「どこにいくの」。
14	A scarecrow pointed to a barn. "We're going to the barn dance. You can come too."	かかしは小屋を指差しました。 「みんなで小屋に踊りにいくのです。あなたもどう？」

- | | | |
|----|---|---|
| 15 | Then the scarecrows looked at Biff and Chip. "Oh dear! You can't come." | ビフとチップをかかしが見ていました。
「なんてこと！あなたたちは行けないですよ」 |
| 16 | Biff and Chip weren't scarecrows. They couldn't go to the dance but Fred had an idea. | ビフとチップはかかしではありませんでした。ふたりはダンスには行けませんでした。がフレッドには考えがありました。 |
| 17 | Fred made Biff and Chip into scarecrows. They went to the dance. | フレッドはビフとチップをかかしにしたあげました。ふたりはダンスに行きました。 |
| 18 | The band began to play. "Come on," called Fred. "Let's dance." | バンドが演奏をはじめました。
「きてごらん」とフレッドが言いました。
「おどろうよ」。 |
| 19 | Biff began to dance with the scarecrows. "This is fun," called Chip. | ビフはかかしと踊りはじめました。
「これは楽しいな」とチップが大声で言いました。 |
| 20 | Biff danced with Fred. Chip danced with Biff. They all danced with the scarecrows. | ビフはフレッドと踊りました。
チップはビフと踊りました。
みんなかかしと踊りました。 |
| 21 | "See!" said Biff. "There are girl scarecrows. I told you so." | 「ね！」とビフが言いました。「女の子のかかしもいるでしょう。だからそう言ったでしょう」。 |
| 22 | Suddenly, the key glowed. It was time to go home. "Oh no!" said Fred. | 突然マジック・キーが光り始めました。もう家に帰る時間でした。
「あーあ」とフレッドが言いました。 |

23	The magic took them home. Biff and Chip had an idea.	魔法でみんなはおうちに戻りました。 ビフとチップには考えがありました。
24	“I didn’t know there were girl scarecrows,” said Mum. “Well, there are,” said Chip.	「女の子のかかしがいるって知らなかった わ」とママが言いました。 「いるんだ」とチップが言いました。

After Reading

オズの魔法使いのような場面が出てきました。かかしの性別なんて考えたことはありますか。この本にあるように両方いてもいいわけですね。

See!

p.21 でビフは See!と言っています。かかしを女の子で作りたいかかったビフは、ほらいたでしようという意味で See と言っていますね。see には「見る」という意味や「わかる」という意味などいろいろあります。このように基本的だと思われる言葉ほど、意味がたくさんある場合があります。その場面で使われている言葉が、知っている意味では通らないときには別の意味があるのかもしれないと思う癖をつけていきましょう。

クラスで楽しもう

会話文を抜き出して、聞き取りながら遊ぶアクティビティーです。会話の意味を考えることと、聞き取ることを目的とします。

準備するもの： 白い中型のカード 16 枚×人数分 ペン

- 1) 指導者が前もって絵本の中から会話文を抜き出してホワイトボードや模造紙などに書いておきます。

例： Look at the birds.

Go Away.

Let's make a scarecrow.

What a good idea.

All scarecrows are boys.

I'm alive.

It's magic!

Hello.

Where are you going?

We're going to the barn dance. You can come too.

Oh dear! You can't come.

Come on. Let's dance.

This is fun.

See! There are girl scarecrows. I told you so.

Oh no!

I didn't know there were girl scarecrows. Well there are.

- 2) 次に子どもたちに文章をひとつの番号をひとつのカードにうつしてもらいます。(時間を短縮したいときには、ここまでを指導者が準備しておきます。)書く練習になるので、ピリオドなどのパンクチュエーションがきちんと写せているかチェックしていきます。
- 3) 絵本の絵の部分を見せて、その絵を見ながらそのページにどのカードのセリフがくるかを考えて、子どもたちそれぞれに自分の前に上から順に下に向かって並べてもらいます。
- 5) CDをかけて1ページごとにポーズを入れて、自分のカードがちがう場合には流れたものを置いていきます。
- 6) 絵本を一冊聞き終わったら、通しで一回聞いてみます。

ことばの解説

表紙 scarecrow かかし

p.2 peck (ed) つつく p.3 go away あっちにいった

p.10 field 畑・競技場・分野 p.12 lane いなか道・小道・車線

p.14 pointed to ~ ~を指さす barn 物置・納屋

Noah's Ark Adventure 「ノアの方舟の冒険」(370語)

Before Reading

雨降りの中を子どもたちとフロッピーが、方舟をながめています。どんな冒険になっていくのでしょうか。

	Noah's Ark Adventure	ノアの方舟の冒険
1	It rained and rained. It rained all day long. The children were fed up.	雨が降り続けました。 一日中雨でした。 子どもたちはあきあきしていました。
2	The children went outside. They wanted to play but it was too wet.	子どもたちは外に出ました。 遊びたいと思いましたが、雨がひどすぎました。
3	Dad looked out of the window. "Come inside," he said. "It's too wet to play outside."	パパは窓の外を見ました。 「中にもどりなさい」とパパが言いました。 「外で遊ぶには雨が強すぎる」。
4	The children went to Biff's room. Suddenly, the key began to glow. It was time for a magic adventure.	子どもたちはビフの部屋に入りました。 突然、マジック・キーが光りはじめました。 魔法の冒険の時がきました。
5	"What a good job!" said Kipper. "I want a magic adventure. I'm fed up with all the rain."	「ちょうどいいね！」とキッパーが言いました。「魔法の冒険がしたかったんだ。 ずっと雨で退屈しちゃった」。

- | | | |
|----|--|--|
| 6 | The magic key took them into a new adventure.
But it was raining. | マジック・キーでみんなは新たな冒険に行きました。
そこも雨が降っていました。 |
| 7 | “Oh no!” said Kipper.
“We don’t want an adventure in the rain.” | 「なんてことだ！」とキッパーは言いました。「雨の中の冒険なんてしたくないよ」。 |
| 8 | The children saw a boat.
“What is it?” asked Kipper.
“It’s Noah’s Ark,” said Biff. | 子どもたちの目にボートが入りました。「何だろう？」とキッパーが聞きました。「ノアの方舟だわ」とビフが言いました。 |
| 9 | “Noah has to put the animals on the Ark or they will drown,” said Chip. | 「ノアは方舟に動物を乗せなくてはならなかったの。でないとおぼれちゃうから」とビフが言いました。 |
| 10 | “It’s raining so much,” said Biff.
“The water’s going to cover everything.” | 「たくさん雨が降っているわ」とビフが言いました。「水がすべてを飲みこんでしまうわ」。 |
| 11 | “Don’t worry,” said Chip.
“Noah will save all the animals.”
“Will he save us too?” asked Kipper. | 「心配ないよ」とチップが言いました。「ノアは動物全部を助けるんだよ」。
「ぼくたちも助けてくれるの？」とキッパーが聞きました。 |
| 12 | “Hello,” said Noah.
“What do you want? Have you come to help?” | 「こんにちは」とノアが言いました。「何をしたいんだい？助けに来てくれたのかい？」 |
| 13 | Noah looked at the water.
He pointed at the Ark.
“I want some help,” he said. | ノアは水を見ました。
ノアは方舟を指差しました。
「助けが必要なんだ」と言いました。 |

14	The children looked at the animals. “It is time to put the animals on to the Ark,” said Noah.	子どもたちは動物を見ました。 「動物たちを方舟に入れてあげる時間だ」とノアが言いました。
15	The animals went on to the Ark. They went on in twos. First, Noah put the big animals on.	動物たちは方舟に乗り込みました。 1 対になって乗り込みました。 まずノアは大きな動物たちを乗せました。
16	A man pushed the elephants. They pulled the crocodiles up in a big net	男の人がゾウを押し込みました。 大きな網でワニを吊り上げました。
17	A camel didn’t want to go on to the Ark. They pushed it and pulled it.	ラクダは方舟に乗りたがりませんでした。 みんなは押したり引っ張ったりしました。
18	“All the animals are on,” said Noah. “It’s time to go. Please get on to the Ark.”	「動物が全部乗ったぞ」とノアが言いました。 「さあ出発だ。方舟に乗りなさい」。
19	The children went on to the Ark. Noah looked at Floppy. “Stop!” shouted Noah.	子どもたちは方舟に向かいました。 ノアがフロッピーを見ました。 「止まって」とノアが叫びました。
20	“I’m sorry,” said Noah. “We put two dogs on the Ark. We can’t have three dogs.”	「申し訳ないんだが」とノアが言いました。 「われわれは 2 匹犬を乗せたのだ。3 匹は乗せられない」。

21	The children couldn't leave Floppy. "Floppy can't go on the Ark, so we won't go on it," said Biff.	子どもたちはフロッピーを置いていくことができませんでした。 「フロッピーが方舟に乗れないのなら、私たちも行けないわ」とビフが言いました。
22	The Ark sailed away. The children floated in Noah's big umbrella.	方舟は出航しました。 子どもたちはノアの大きな傘の中で漂っていました。
23	"It's still raining," said Biff. Just then, the magic key began to glow.	「まだ雨が降っているわ」とビフが言いました。ちょうどその時、マジック・キーが光り始めました。
24	The magic took the children home. "What an adventure!" said Biff. "Oh no!" said Kipper.	魔法で子どもたちは家に戻りました。 「すごい冒険だったわ！」とビフが言いました。 「あらら」とキッパーが言いました。

After Reading

これは聖書にも出てくる「ノアの方舟」の話の中に冒険に行くお話しです。欧米では聖書に出てくるお話で有名なものがあります。ある程度の知識があると、話題になった時に困りません。動物から乗せていったとは、動物が大切にされていたのですね。

ノアの方舟

旧約聖書創世記の6～7に出てきます。人間たちのあまりに乱れた行動に怒った神様が、忠実なしもべであった Noah に予言で洪水が起きる事を知らせ、ノア夫婦と3人の息子と奥さんたち家族に方舟(Ark)を作るよう命令しました。その船には、ノア夫婦と地上に生息するすべての動物一対を乗せられるよう、作り方、大きさを指定しました。洪水が収まったころ、ノアはまず、カラス(Raven)を使者として様子をつかがわせずに飛ばしますが、陸地は見えず、その次に鳩(dove)を飛ばしました。1回目は何も起こらず、2回目に鳩はオリーブの葉を口にくわえて戻ります。そして、ノアは初めて、水が引いてきている事を理解します。その後神さまからのお告げがあり、ノアたちは動物たちとともに船をおり、陸地に降り立ちます。

感謝の気持ちを表わすため、祭壇を作り供え物をささげると、虹が現れます。虹はもう2度と洪水を起こすことはないこと、虹を見るたびに神さまの約束を思い出すしるしとなることで、ノアの方舟のイラストには必ず、方舟、動物たちと虹の絵が描かれています。

クラスで楽しもう 1

ノアはみんなの事を救うために方舟に順々に動物を乗せていきます。絵本の中からノアの方舟に描かれている方舟、動物たち、虹の絵を探しましょう。

- 1) キーワードを覚えます。Noah's Ark「ノアの方舟」、the animals「動物」、Rainbow「虹」これらのスペルと発音を確認します。rainbow 以外は本文に出てきています。the Ark と the animals の部分にラインマーカーを引きます。
- 2) 次に絵で描かれているところをひとつずつ確認していきます。p.14 と p.15 から動物は一対になっていることに注目してください。動物を見て何か気づくかどうか子どもたちが触れるまで、待つて答えを引き出すようにしてください。

クラスで楽しもう 2

準備するもの： ポストイット 8枚×人数分

- 1) 絵本の中でどこにノアがいるか探します。p.12 から p.21 までノアが登場します。このページならばたとえば「見かけない子どもたちと犬が来た。助けてくれそうだな」などのように考えていきます。
- 2) 次にその絵にいるノアの気持ちをポストイットに書き込みます。文字で書ける子どもは文字で、書けない場合には絵を描いてもらいます。
例： The children look helpful.
- 3) ひとつずつポストイットに書いたら、本を開きながらみんながノアの口元にセリフのように貼っていきます。ページごとに先生が子どもの書いたものを読み、みんなで言ってみます。(この時に間違いがあった場合は、さりげなく正しく言いなおします。)

ことばの解説

表紙 Noah ノア Ark 方舟

p.1 fed up 退屈した・うんざりした p.9 put A on B AをBに乗せる

p.13 point(ed) at ～ ～を指さす p.15 in twos 1対 first まず・一番目の

p.16 crocodiles ワニ(あごを閉じたときに下の歯が少し見える)(alligator はあごを閉じたときに下の歯が見えない)。

p.18 get on 乗る

A New Classroom 「新しい教室」 (328 語)

Before Reading

新しい教室はわくわくするものです。子どもたちのうれしそうな顔を見てください。メイ先生もいます。

A New Classroom

- 1 Some people came to the school.
They put a fence across the playground.
- 2 The children looked at the fence.
“What is it for?” asked Wilf.
Nobody knew.
- 3 A lorry came to the school.
It had blocks on it.
“What are they for?” asked Biff.
- 4 Then a digger came.
The children were excited.
- 5 Some men dug a long trench across the playground. “What is it for?” everyone asked.
- 6 It was time to go in but the children didn’t want to.
They liked the digger.

新しい教室

- 学校に作業の人がやってきました。
校庭にフェンスを立てました。
- 子どもたちはフェンスを見ました。
「何のためなの？」とウィルフが聞きました。
だれにもわかりませんでした。
- トラックが学校にやってきました。
ブロックを積んでいました。
「何に使うのかしら？」とビフは聞きました。
- するとシャベルカーがやってきました。
子どもたちは興奮しました。
- 作業員は校庭に長い溝を掘りました。
「いったい何のためだろう？」とみんなが聞きました。
- もう教室に入る時間になりましたが、子どもたちは中に入りたがりませんでした。
シャベルカーが気に入りました。

7	Mrs May looked at the trench. "It's for a new classroom," she said.	メイ先生は溝を見ました。 「新しい教室のためね」とメイ先生は言いました。
8	The children were excited. They wanted to find out about the new classroom.	子どもたちは興奮していました。 新しい教室について知りたいと思いました。
9	The children looked at some books. Wilf found a book about diggers. Chip painted a picture of one.	子どもたちは本を読みました。 ウィルフはシャベルカーについての本を見つけました。 チップはシャベルカーの絵を塗りました。
10	Mrs May took the children outside. They talked about the digger. Mrs May took a photograph.	メイ先生は子どもたちを外に連れ出しました。 みんなシャベルカーについて話しました。 メイ先生は写真を取りました。
11	Everyone looked at the blocks. "The classroom will go on the blocks," said Mrs May.	みんなブロックを見ました。 「教室はブロックの上に建てられますよ」とメイ先生が言いました。
12	Then a crane came to the school. The children were excited. They looked at the driver.	するとクレーン車が学校につきました。 子どもたちは盛り上がりました。 子どもたちは運転手を見ました。
13	"What is the crane for?" asked Biff. "Wait and see," said Mrs May.	「クレーンは何につかうのですか?」とビフは聞きました。 「見てみましょう」とメイ先生が言いました。
14	The children watched the crane. It lifted the classroom over the wall.	子どもたちはクレーンをじっと見ていました。 クレーンは、教室を塀の上からつりあげました。

- | | | |
|----|---|--|
| 15 | Everyone watched the classroom.
“Don’t drop it,” called Chip. | みんな教室を見守りました。
「落とさないように」とチップが叫びました。 |
| 16 | Biff looked at the classroom.
Something was wrong.
“Mrs May! Mrs May!” called Biff. | ビフは教室を見ました。
何かが違います。
「メイ先生！メイ先生！」とビフが叫びました。 |
| 17 | “Don’t shout, Biff,” said Mrs May.
The crane put the classroom
down. It put the classroom on the
blocks. | 「叫んではダメですよ、ビフ」とメイ先生が言
いました。クレーンは教室をおろしました。
ブロックの上に置きました。 |
| 18 | The crane lifted the roof and put
it on the classroom.
Something was wrong. | クレーンが屋根を持ち上げ教室の上に置
きました。
何かがちがいます。 |
| 19 | “Mrs May!” called Biff.
“Something is wrong.” “Don’t
shout, Biff,” said Mrs May. | 「メイ先生！」とビフが叫びました。
「ちがっています」。「叫んではいけません
よ、ビフ」とメイ先生が言いました。 |
| 20 | Everyone gasped. The classroom
was upside down. “Oh dear!”
said Mrs May. | みんな息をのみました。教室は逆さまで
した。「まあ、なんていうこと！」とメイ先生
が言いました。 |
| 21 | “I said something was wrong,”
said Biff. “But nobody would
listen.” | 「だから違うと私は言ったのです」とビフは
言いました。「でもだれも聞いてくれなか
ったのです」。 |
| 22 | The crane put the classroom the
right way up.
The children wanted to look
inside. | クレーン車は教室を正しい方向に置きなお
しました。
子どもたちは中を見たくまりました。 |

23	The children went inside. Wilf saw a door. “What’s in here?” asked Wilf.	子どもたちは中に入りました。 ウィルフはドアを見ました。 「中に何かあるのですか？」とウィルフが聞きました。
24	Everyone gasped. “Oh no!” said Wilf.	みんながはっとしました。 「なんてことだ！」とウィルフが言いました。

After Reading

ビフが言おうとしているのに言わせてもらえないのを、読んでいるうちに応援したくなります。メイ先生のように興味を持ったらずぐに外に連れていってくれる先生は、あこがれではないでしょうか。工事にまつわるような普段はあまりふれない言葉も、この機会に覚えていきましょう。

Would

p.21 に But nobody would listen. 「だれも聞こうとしなかった」という文章があります。このように would は意志を表わしたりします。

クラスで楽しもう

playground, everyone, classroom, something, nobody, everyone などふたつの言葉がくっついてできた長めの単語が出てきます。英語ではどこを強く読むか意識しながら練習していきましょう。日本語にはあまり抑揚がありません。しかし、英語は抑揚が大切です。それを意識していくのは大切です。

- 1) 注目してほしい単語を選びます。みんなで選んでいてもよいでしょう。子どもが選んだら、長いものでなくても構いません。
- 2) CDを聞いて強いと思う所にマークを入れていきます。ホワイトボードにみんなが見えるように先生が書いていくと、全員で確認がしやすいでしょう。
- 3) 一回単語を発音してみます。
- 4) CDのお話に合わせて、特に長い単語に注意しながらCDと一緒に言ってみます。

ことばの解説

- p.1 fence 塀・柵 playground 校庭・遊び場 p.2 nobody だれも～ない
p.3 lorry トラック(アメリカでは truck という) block(s) ブロック・レンガ
for 目的を示す
p.4 digger シャベルカー be excited わくわくする・ドキドキする・興奮する
p.5 trench 溝・堀 across 横切って
p.10 photograph 写真(発音に注意しましょう。o は【ou】と発音します。)
p.12 driver 運転手 p.13 wait and see 様子を見る
p.18 wrong 誤っている・まちがえ p.20 gasp(ed) 息をのむ・あえぎながら言う
p.22 right way 正しい方向

Mum to the Rescue 「ママの救助隊」 (352 語)

Before Reading

ママがオールを持って救命ボートに乗っています。なぜか楽しそうな表情です。

	Mum to the Rescue	ママの救助隊
1	Mum and Dad went to a car boot sale. They took the children.	ママとパパはフリーマーケットに行きました。 子どもたちも連れていきました。
2	Mum looked at a dinghy. She called Dad. Dad looked at the dinghy.	ママがゴムボートを見ていました。 ママはパパを呼びました。 パパがゴムボートを見ました。
3	“What is it?” asked Dad. “It’s a dinghy,” said Mum.	「それは何なの？」とパパが聞きました。 「ゴムボートよ」とママが言いました。
4	Mum wanted the dinghy. She called the children. “Look at this,” she said.	ママはゴムボートを欲しいようでした。 ママは子どもたちを呼びました。「これを見て」とママは言いました。
5	The children looked at the dinghy. “What is it?” they asked. “It’s a dinghy,” said Mum.	子どもたちはゴムボートを見ました。 「それは何？」とみんなが聞きました。 「ゴムボートよ」とママが言いました。
6	They took the dinghy home. Dad pumped it up but it went down again.	みんなはゴムボートを持ち帰りました。 パパが空気を入れたのですが、またしぼんでしまいました。

7	Mum mended the dinghy. She put a patch on it. The children helped.	ママがゴムボートを修繕しました。 ママはパッチを貼りました。 子どもたちは手伝いました。
8	Dad put the dinghy on the car. They took a picnic and went to the river.	パパは車にゴムボートを乗せました。 ピクニック用お弁当を持ち、川に出かけ ました。
9	Dad looked at the river. He pointed at the weir. “The weir is dangerous,” he said	パパが川を見ました。 小さなダムを指しました。 「小さなダムは危ないよ」とパパが言いま した。
10	Mum and Dad had a good idea. “Let’s put everything in the dinghy. Everyone can help,” they said.	ママとパパには良い考えがありました。 「全部のものをゴムボートに乗せようよ。 みんなで手伝おう」とみんなは言いま した。
11	They found a good spot for the picnic. The children paddled the dinghy.	みんなはピクニックによい場所を見つけ ました。 子どもたちはゴムボートをこぎました。
12	It was time for the picnic. Mum and Dad put the rug down and got the picnic out.	お昼の時間です。 ママとパパはシートを広げて、お弁当を 出しました。
13	Floppy ran out of the water. He shook water over Dad. “Go away, Floppy!” said Dad.	フロッピーは川から出てきました。 フロッピーはパパの方に向かって水をは らいました。「あっちにいけよ、フロッピ ー！」とパパが言いました。

14	The river was busy. Biff and Chip watched the boats go by.	川は混んでいました。 ビフとチップはボートが行くのを見ていました。
15	Biff liked the big boats. “I wish we could go on a big boat,” she said.	ビフは大きなボートが好きでした。 「もし大きなボートに乗れたらなあ」とビフは言いました。
16	It was time to go home. “What a good day!” said Dad. “It was a good picnic.”	もう家に帰る時間になりました。 「なんてよい一日だったのだろう！」とパパが言いました。「よいピクニックだったね」。
17	“Look!” said Biff. “There is nobody on that boat.”	「見て！」とビフが叫びました。 「だれもあのボートに載っていないね」。
18	“My boat is in danger,” called a lady. “Help! Get my boat!”	「私のボートが危険なんです」とおばあさんは言いました。 「助けて！私のボートをつかまえて」。
19	Mum put the dinghy in the river. She paddled to the boat. “Be careful,” called everyone.	ママはゴムボートを川に運びました。 ママはボートまで漕いで行きました。 「気をつけてね」とみんなが言いました。
20	Mum climbed on to the boat. She started the engine. She was just in time.	ママがボートに乗りこみました。 ママはエンジンをかけました。 ぎりぎりで間に合いました。
21	Mum brought the boat back. “Hooray!” everyone shouted. “Mum to the rescue!” said Kipper.	ママはボートを戻しました。 「やったあ！」とみんなが叫びました。 「ママの救助隊だね！」とキッパーが言いました。

22	Dad let go of the dinghy rope. The dinghy went over the weir. "Oh no!" said everyone.	パパがゴムボートのロープを放してしまいました。 ゴムボートが小さなダムまで流れてしまいました。「あ～あ」とみんなが言いました。
23	The lady had an idea. "I will lend you my boat to say thank you," she said.	おばあさんには考えがありました。 「お礼としてボートを貸しますよ」とおばあさんは言いました。
24	The family had a holiday on the boat. "Thanks to the dinghy" said Mom.	家族はボートで休日を過ごしました。 「ゴムボートのおかげね」とママが言いました。

After Reading

P19 を見ると誰が救助に向かっていますか。ママですね。この辺は日本ならば、パパが運転するほうが多いかもしれません。

クラスで楽しもう

ORT の裏表紙には、どれもその本でフォーカスしてほしい単語がリストされています。この単語を使って行うアクティビティーのご紹介です。

- 1) 裏表紙のキーワードを全員で読みます。次に意味を確認します。
- 2) 制限時間を決めて、1) の単語を使ってできるだけたくさんの文章を作りましょう。単語をヒントに文章を組み立てていきましょう。

ことばの解説

p.2 dinghy 救命ゴムボート

p.6 pump(ed) ポンプで動かす・送る p.7 mend(ed) 直す patch あて布

p.9 weir 小さなダム(堰(せき)) p.9 dangerous 危険な

p.11 paddle 漕ぐ・へら・パドル(短い)

p.12 picnic お弁当そのものを指す場合と、ピクニックに行くという意味の場合もある。

p.15 I wish～ ～だったらよいのに、というときに使えます。

p.17 There is nobody on that boat. いない人がいるという言い方で、「あのボートにはだれもいない」という意味になる。

p.23 lend (無料で)貸す。

本文著者 宮下いづみ

Eunice English Tutorial 主宰

SEG 英語多読コース講師

東京音楽大学附属高校非常勤講師